

熊本県立大学メールアドレスの不正利用事案の発生について

本学名誉教授のメールアドレスが何者かに不正に利用され、メールシステムの情報が閲覧・取得された可能性を否定できない事案が発生いたしました。詳細は下記のとおりです。
なお、現在のところ、被害等の報告はありません。

記

1 事案の概要

- ・12月7日16:30頃、名誉教授から、出した覚えのないメールが多数返ってくると大学へ連絡。至急ログを確認したところ、名誉教授のメールアドレスから、6日23:30頃から7日16:30頃にかけて、不審な英文メールが46件送信され、1,230件の送信をシステムがブロックしていたことが判明。
- ・更に調査を行ったところ、8月30日以降に約1,000件(うち半数は12/6以後に集中)の海外からのログインを検出。

2 漏えいした疑いのある情報の内容(計5,288人)

- ・本学ユーザー(教職員、学生、名誉教授、公開講座等受講者 計3,537人)の氏名・本学が付与したメールアドレス、ユーザーが自身のプロフィールに任意入力した部署・職場電話番号等の情報
- ・名誉教授のアドレス帳の情報(登録件数991人:他大学、機関、企業等の関係者、個人の氏名・メールアドレス・所属先・部署・役職・電話番号等)
- ・名誉教授のメールボックス内のメール内容、添付ファイル
教員等の履歴書・略歴 43人分:住所・氏名・生年月日・電話・メールアドレス・学歴・職歴・顔写真等
人事資料 101人分:氏名・生年月日・住所・最終学歴・現職位・教育歴・審査結果等
研究室等の名簿 612人分:氏名・住所・電話番号・メールアドレス・役職
その他4人分:翻訳代金請求者の氏名・住所・口座番号等

3 原因

- ・本学では二要素認証(※)を原則としているが、名誉教授においてはスマートフォン等を所持していないことから申し出により除外していたこと、名誉教授のパスワードとして数桁の簡単なものが使用されていたこと、メールアドレス・パスワードが他のサイトで使用されていたことが重なったためと考えられる。

※メールアドレス・パスワードの入力及びSMSか電話で確認コードを提示

4 これまでに行った対応

- ・当該アカウントのパスワードを変更し、不審メール発信停止を確認
- ・本学ユーザーにメールで報告、注意喚起
- ・名誉教授からアドレス帳登録先にメールでお詫び、報告、注意喚起
- ・名誉教授による端末のウイルススキャン
- ・名誉教授のメール内情報の精査
- ・Microsoft に相談、確認
- ・関係者への謝罪通知(継続中)
- ・警察への相談
- ・大学HPへの掲載
- ・相談窓口の設置

熊本県立大学 デジタルイノベーション推進センター内

電話 096-321-6732(平日受付時間 9:00~17:00)

※平日に加え、今月、18日(日曜日)及び25日(日曜日)も同受付時間に開設します

メールアドレス it-support@pu-kumamoto.ac.jp

5 再発防止策

- ・二要素認証除外については、一切認めない方向で見直し
- ・電子・個人情報の安全管理の周知徹底

【お問い合わせ先】

熊本県立大学

デジタルイノベーション推進センター 坂本

電話 096-321-6732

学長コメント

今般、本学名誉教授のメールアドレスが何者かに不正に利用され、メールシステムの情報が閲覧・取得された可能性を否定できない事案が発生いたしました。

県立大学において、学生をはじめ関係者の個人情報漏えいの疑いがある事案が発生したことは、大変申し訳ない思いであり、学生や保護者、及び関係者の方々をはじめ県民の皆様方に深くお詫びを申し上げます。

本学としましては、再発防止に向けて、関係者との連携のもと、電子情報及び個人情報の適切な取扱いについて、より一層の指導の徹底や注意喚起を図り、信頼回復に努めて参ります。

令和4年(2022年)12月13日

熊本県立大学

学長 堤 裕昭